

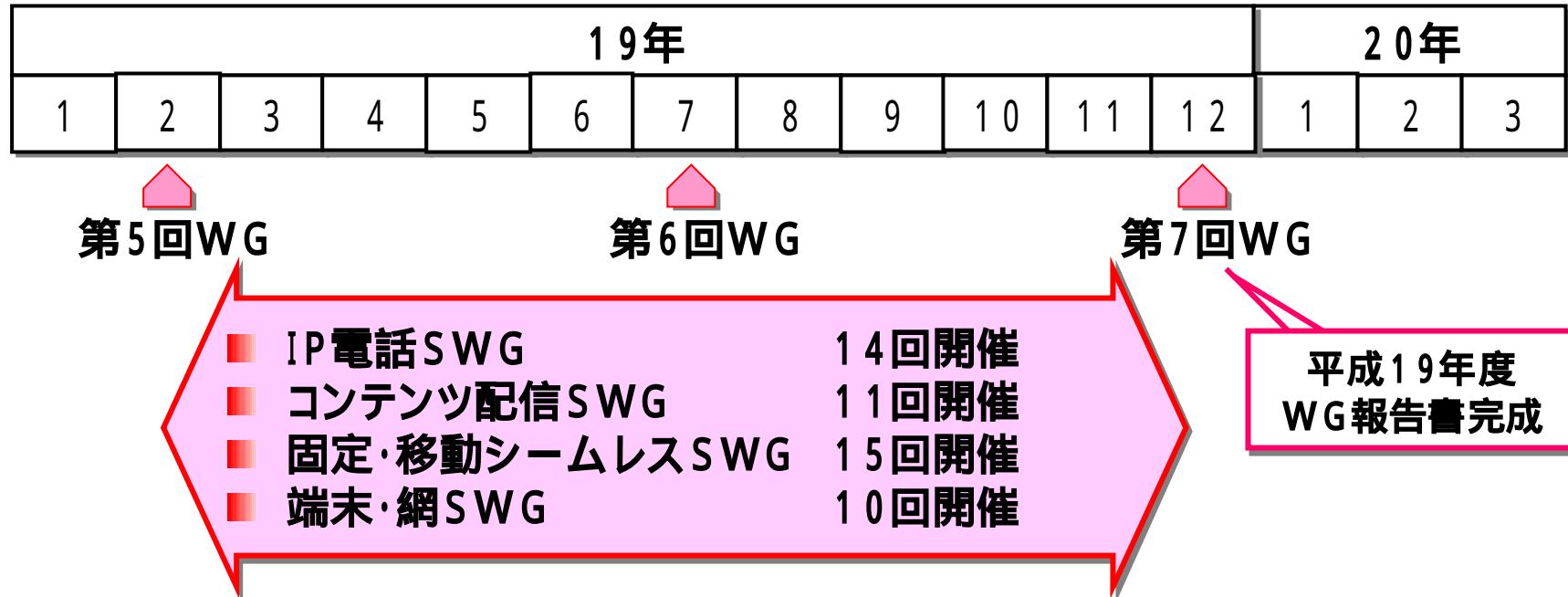
平成19年度技術基準検討WGの活動状況 および今後の検討について

平成20年3月11日
技術基準検討WG

平成19年度の検討体制と会合開催状況

- 技術基準検討WG(リーダ 栗野 友文(NTT))
- 平成19年度のSWG体制
 - IP電話SWG (主査 千村 保文(沖電気))
 - コンテンツ配信SWG (主査 小林 中(NEC))
 - 固定・移動シームレスSWG (主査 加藤 正文(富士通))
 - 端末・網SWG (主査 入部 真一(日立))

□ 会合開催状況



平成19年度 技術基準検討WG活動の概況

□ 平成19年度は各SWG毎に以下の内容について検討

IP電話SWG	: 050_IP電話を中心に検討
コンテンツ配信SWG	: 映像や音楽、音声、データなどのコンテンツを配信するサービスについて検討
固定・移動シームレスSWG	: 固定網と移動網がシームレスに接続され提供されるいわゆるFMCサービスについて検討
端末・網SWG	: 次世代ネットワークの進展と端末の多様化に伴う、端末と網の関係を技術基準の視点で検討

□ IP電話SWGについては新たな技術的条件を提言、その他のSWGは今後の検討に向けた論点、着目点、検討の進め方などを提言

- 各内容の検討結果は後述するが、「コンテンツ配信SWG」「固定・移動シームレスSWG」「端末・網SWG」の検討対象は、現在標準化が行われている最中であること、サービスの提供が行われていないこと、サービスの立ち上がり期であること、等、から技術的条件の提言ではなく、今後の検討に向けた着目点や論点、検討の進め方の提言としてまとめた。

□ 報告書として取りまとめ公開

- 「平成19年度 技術基準検討WG報告書」として平成19年12月に取りまとめ、次世代IPネットワーク推進フォーラム ホームページで公開中。

□ 検討結果は総務省 報通信審議会 IPネットワーク設備委員会の検討に反映

- 総務省情 報通信審議会 IPネットワーク設備委員会報告書(案)(平成20年1月)
- 報告書のパブリックコメントが完了し今後答申予定

各SWGより平成19年度の検討概要についてご報告します。

技術基準検討WGの今後の検討について

技術基準検討WGでは、次世代IPネットワークの発展に向け、技術基準の検討・提言を行っている。

平成18年度は、次世代IPネットワークでも引き続き社会的基盤になると予想される、0AB～J_IP電話について検討を行い、平成19年度は、050_IP電話、さらには、次世代IPネットワーク上で今後提供が期待されているサービスについて検討を行い提言を行ってきた。

技術基準は、“安心・安全で良質なサービスを利用者へ提供するため”に、利用者や提供者双方にとって重要である。

また、一方では、技術革新やサービスの創意・工夫・発展による“利用者の利益の享受を確保するための自由度を確保”しておくことも重要である。

次世代IPネットワークは、まさにその途についたところであり、今後の発展に向けて、この“安心・安全で良質なサービスの利用者への提供”と“利用者の利益の享受を確保するための自由度の確保”的バランスの取れた技術基準の検討を行っていく。

よって、今後も、サービスの提供状況や標準化の進展状況、さらには社会的な要請などを鑑みながら、総務省 情報通信審議会 IPネットワーク設備委員会との密な連携を図り検討を行っていく。